

天空の城へ 宝刀「獅子王」奉納の儀 2018年・春・開催



©2017 ASAGO大學/日本城下町楽会 関西/赤松広秀を弔う実行委員会

よみがえ

蘇る、歴史浪漫。

宝刀「獅子王」は、竹田城最後の城主、赤松広秀の祖先・源頼政が時の天皇より賜り、広秀が守っていたと言われ、徳川幕府に没収され、現在、国が重要文化財として収蔵する。その写しを東京国立博物館の協力による特別閲覧を経て、兵庫県を代表する刀工・高見國一氏の手により作刀。

2018年・春―“宝刀「獅子王」奉納の儀”―開催へ。

不可能を超え、常識を超える、重要文化財・太刀「獅子王」写しづくり。

それは、無念の思いでこの世を去った、赤松広秀公の名誉を回復する第一章に過ぎない。

永い時を超えて、天空の城へ宝刀「獅子王」と共に感動の物語が還ってくる。

文化人としても数々の功績を残した、戦国武将・赤松広秀公の秘められた歴史浪漫が蘇る。

「赤松広秀を弔う実行委員会」は、ASAGO大學の分科会から誕生したプロジェクトです。

皆様のご支援・ご寄附を基に地域活性化活動に取り組んでいます。
活動の支援企業ならびに支援金を広く募っています。

【宝刀「獅子王」奉納の儀・開催募金】

ご寄附は下記の各金融機関「赤松広秀を弔う実行委員会」迄お願い申し上げます。

- ◇但陽信用金庫・朝来支店 / 口座番号 (普通)5090729
- ◇但馬銀行・和田山支店 / 口座番号 (普通)7203413
- ◇但馬信用金庫・竹田支店 / 口座番号 (普通)0167884

実施団体: 赤松広秀を弔う実行委員会

受け付けは下記「あさご元気産業創生センター」に於いても受け付けしております。